

令和8年(2026年)度 年間授業計画(シラバス)										
学年	2	学科	全学科	単位	2	教科	理科	科目	化学基礎	
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改訂 新編 化学基礎(東京書籍)</li> <li>・改訂 ニューアチーブ 化学基礎(東京書籍)</li> </ul>									
学習目標	<p>(1) 日常生活や社会との連携を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な技能を身につける。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>									
単元と学習内容										
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の成分と構成元素</li> <li>・原子の構造と元素の周期表</li> <li>・化学結合</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活において化学が果たしている役割を理解する。</li> <li>・物質の構造や原子の構造について理解する。また、原子の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解する。</li> <li>・イオン結合、共有結合、金属結合について理解し、それらの結合によってできた物質の性質と関連させる。</li> </ul>						
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質と化学反応式</li> <li>・酸と塩基</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子や分子の質量は相対質量で表され、それらの粒子は<math>6.0 \times 10^{23}</math>個の集団を1 molとして扱うことを理解する。また、化学反応式によって、反応物・生成物の質量・体積が求められることを理解する。</li> <li>・酸・塩基の定義を理解する。また、酸と塩基が反応すると互いの性質を打ち消し合う中和反応において量的関係を計算する。</li> </ul>						
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化還元反応</li> <li>・化学が拓く世界</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素、水素、電子の授受に基づく酸化、還元の定義について理解する。また、酸化数の求め方と酸化数の変化と酸化、還元の間関係を理解する。</li> <li>・日常生活や社会との関わりの例を通して、科学技術と化学の間関係を理解する。</li> </ul>						
評 価										
評価の観点		到達度目標「[B] (おおむね満足できる) の規準」			評価のフィードバック					
					1期末	2期末	学年末			
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解している。</li> </ul>			○	○	○			
②	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界や産業界にある科学的な事物・現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察している。</li> </ul>			○	○	○			
③	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学的な事物・現象に関心や探求心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに科学的態度を身につける。</li> </ul>			○	○	○			
評価方法	①			②			③			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦定期考査</li> <li>㊧副教材</li> <li>㊨実験プリント・ワークシート</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦定期考査</li> <li>㊧副教材</li> <li>㊨実験プリント・ワークシート</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦定期考査</li> <li>㊧副教材</li> <li>㊨実験プリント・ワークシート</li> </ul>			